

令和 7 年度 教育指導の重点及び学校経営計画					
		学校番号	51	学校名	恵那農業高等学校
社会的役割等 (スクール・ミッション)	農業を学び、農業で学ぶことができる東濃地域の農業高校として 地域課題の解決を目指す実践的な学びを通して 地域社会の担い手となる自覚の開花を目指す学校				
学校教育目標 (教育方針)	(1) 生徒一人一人が持つ可能性を引き出し、個性を最大限に伸ばす指導に努める。 (2) 社会人として必要な基礎・基本を身に付けさせ、自立した人間を育てる指導に努める。				
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	・明るく元気で、しっかりあいさつができる生徒 ・規律を守り、自らの行動に責任の持てる生徒 ・地域から信頼され、地域から愛され、地域と共に歩む生徒 ・地域社会の発展、地域産業の発展に貢献できる生徒			
	生徒をどう 育てるか 【CP】	・将来の農業のスペシャリストを目指して、より高度な専門性の定着を行う ・基礎・基本の徹底を図り、生徒が持つ特性や可能性を最大限に伸ばす指導を実施する ・日々の授業を大切にし、学習活動を様々な角度から適切に評価する			
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	・自ら学び自ら考え、他者と協働しながら主体的に学びたい生徒 ・生命体を扱う農業に関心があり、生命の尊さや豊かな心を持つ生徒 ・地域を愛し、地域と連携した活動に興味を持つ生徒			
学校の抱える課題	・授業形態や指導方法を工夫し、肯定的な評価をすることで生徒のやる気を引き出しているが、自主的な学習態度の定着と学力の向上に充分にはつながっていない ・集団に属することで起こる人間関係トラブルがある。それらに対する個別の対応、教員同士の情報共有、外部との連携等が不十分なところがある ・進路に向けた活動において目的が明確に理解されておらず、効果が十分に発揮されていないことがある ・生徒が専門力を生かして「誰かの助けになりたい」という観点から学びを深められているが、さらに科学性の追求と、生徒相互の学び合いが必要である ・熱心に取り組む職員、生徒の負担が大きい。				
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標			
	学習指導	学習環境を整え、自主的な学習態度を育成し自己教育力の向上を図ります			
	生徒指導	共感的な生徒理解に努め、他者を思いやる心、自らの行動に責任を持ち正しく判断できる態度を育成します			
	進路指導	自己の在り方や生き方を考え、主体的に進路選択が出来る能力と態度を育成します			
	その他	生徒と共に活動する中で、部活動の活性化を図り、健康な心身と協調性を養います 地域社会の発展に貢献できる社会人を育成します。また、これを具現化するため学校運営協議会等による適切な助言を受けながら生徒支援を行います			

年 度 目 標				年 度 末 評 価（自 己 評 価）			
領域 分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	①学習指導と授業研究・職員研修の充実に努めます。	施策Ⅱ-8	生徒の実態に応じた授業が できているかの検証ができたか				
	②学習の定着と基礎学力の定着に努めます。	施策Ⅱ-8	基礎学力定着のための教材 を効果的に活用し、改善に 向けた検証ができたか				
	③情報ネットワークと機器を生かし、生徒の主体的な学 びを育てる基盤を構築し、運用についての研究と実践を すすめます。	施策Ⅱ-9	I C Tを活用した授業がで きたか				
生徒指導	①生徒への声かけや対話を通した個と集団への働きかけ により、自己理解力やコミュニケーション力、人間関係 形成力など社会的資質・能力を育てます。（発達支持的 生徒指導）	施策Ⅰ-1	職員の共通理解・共通実践 ができたか				
	②いじめ防止、S O Sの出し方（自殺予防）、薬物乱用 防止、情報モラル教育を実施し未然防止に努めます。 （課題予防的生徒指導（課題未然防止教育））	施策Ⅰ-1	各種防止教育を実施できた か				
	③生徒の小さな変化を見逃さず、問題の早期発見と組織 的な早期対応に努めます。（課題予防的生徒指導（課題 早期発見対応））	施策Ⅰ-3	教育相談、気づきシートを 活用して、組織を超えて生 徒情報を共有できたか				
	④指導に特別な配慮を要する生徒に対する個別支援、校 外の専門機関と連携した対応に努めます。（困難課題対 応的生徒指導）	施策Ⅰ-3	個別の対応や専門機関との 連携ができたか				
進路指導	①体験的な学習を通して、正しい勤労観や職業観の育成 を図ります。	施策Ⅱ-13	体験的な進路学習を実施で きたか				
	②コミュニケーション能力の育成、特に自発的な挨拶を 指導します。	施策Ⅰ-1	職員が挨拶の範を示すこと ができたか				
	③地元企業を中心に、また学科の専門性を活かすことが できる求人獲得を行います。	施策Ⅱ-14	学科が「活かしてしてほし い専門性」を正しく知り、 生かすことができたか				
	④進学希望者（特に四大・看護医療系）と公務員希望者 に対する指導の充実に努めます。	施策Ⅱ-8	四大・看護系について、進 路ごと、生徒ごとの個別の 補習体制を整えることがで きたか				
その他	①部活動を有意義なものにし、生徒が積極的に参加する 活動の推進に努めます。	施策Ⅳ-24	部活動ガイドラインを遵守 し、生徒が主体的に活動で きる方策をとったか				
	②「地域から信頼され、地域から愛され、地域と共に歩 む」農業高校を目指すとともに、地域を愛し、地域の発 展に貢献できる人材を育成します。	施策Ⅰ-4	地域の発展に貢献できる研 究テーマを設定して組織的 に活動できたか				
	③課題研究活動等を通して、地域資源を活用し、地域が 抱える農業、環境分野での課題を設定し、主体的、積極 的に解決していく能力や態度を育成します。	施策Ⅱ-14	地域の方々と交流する姿勢 を育み、科学的な知見を 持って考察ができたか				
	④「自らの命は自ら守る」という意識を育み、災害安 全、交通安全、情報モラルを含む生活安全に関する安全 教育の充実に努めます。	施策Ⅲ-19	より実情に即した安全教育 を実施することができたか				